

丸山知事 2期目初登庁 職員向け挨拶

令和5年4月10日（月）

昨日、4月9日の知事選挙の投開票の結果、4月30日からの次の4年間の任期におきましても、引き続き知事を務めさせて頂くこととなりました。

多くの県民の皆様のご支持をいただき、次の4年間も皆様とともにこの島根県政の舵取りを行わせていただきます。

今回の知事選挙につきましては、前回の私の知事選挙は新人でございましたので、現職として臨みました知事選挙となります。これまでの4年間について一定の評価をいただいたということ、この点につきましては、この4年間県職員の皆さんとともに取り組んできた新型コロナ対応、島根創生計画の推進、そして様々な物価の高騰対策といったことにつきまして、皆様と共に進めてきた仕事が評価をされたことであると思っています。

そして、同時に今のままで良いということではなくて、今後に向けてさらに、県民の皆さんの生活、また県内企業の事業の厳しい状況を踏まえて、状況に応じた政策をきちんと実行して欲しいという期待の表れでもございます。

従いまして、今のこの状況を踏まえて、これまでの取り組みを維持、継続するとともに伸ばすべきところを伸ばしていく、そういったことに引き続き取り組んで行く必要がございます。

人口減少対策、何度も申し上げておりますとおり、最終的にはこの島根で一生の暮らしを、仕事をする、子育てをすること、老いを迎えることを含めて、島根で暮らしていこうと思っただけの方を、県内で生まれ育った方、また私のように直接そういう生まれ育ちでない方、いわゆるUターンIターンの方々、ずっとこの島根で頑張ってくるといったことも含めて、多くの方々に人生の大きな決定をしていただくということ、その積み重ねとなります。

人の人生に関わることでありますので、我々は人生の節目で県民の皆さんが求められるであろうことを先取りして取り組んでいくということが引き続き必要になってまいります。

そして、若い方々にともかく島根に残り、島根に戻ってきてもらう、また直接島根の生まれでない方に島根に魅力を感じて島根に来て頂くというためには、生業、生活のもとになります仕事が必要になるわけで、そういう皆さんが求められる魅力ある仕事、職場を作っていくという意味で、産業振興が欠かせませんし、そして様々な子育て環境の整備というのは、行政で行ってまいりますけれども、子育てのおおもとになりますのはご家族、ご両親の収入がもとになります。そういった収入が安定していること、生活が安定していることが「もう一人産み育ててみよう」という人生の選択を引き出すわけであります。

そういった意味で今起きています新型コロナが3年間に及んで感染拡大が続いていた、それに伴って飲食、宿泊、そして土産物といった分野については、コロナ前と同じような売上げが上がる月が数えるほどであったという事業者の方が沢山おられます。

そういった皆様が何とか今、事業継続していただいているのは、政府、また県単独で用意いたしました様々な低利融資を活用していただいているからに他ありません。その返済はこれからであります。

従いましてコロナの3年間で生じた県内経済の傷みをこれから癒やしていく、それを回復していくという取り組みが欠かせませんので、そういった意味でのコロナ対策は、これまでもこれからも必要でございます。

そして全ての家計、全ての事業者に影響、圧迫を与えております、エネルギー、資材、農業で言えば肥料とか飼料、そして我々が日常生活で必要とするスーパーで買うような日用品全てが値上がりをしている状況でございます。

そういった事への対策をきちんと講じていきませんと、先程申し上げたように将来不安がある中では雇用をたくさん生み出していくとか、雇用の水準、とりわけ給与水準は上げていくということは企業は難しくなります。

それに伴って当然子育て家庭が「ふたり」と思っていたのが、「もうひとり」と思っただけのことが経済的に難しくなってくるということになりますので、新型コロナ・物価高騰対策というのは、島根創生計画の推進、人口減少対策に直結する内容でございます、この3つについてきちんと対策を講じていかなければならないということになります。

4年前のこの席では人口減少対策、島根創生をいかに進めていくか、この1点についてお話をさせていただいたと思っておりますけれど、4年後の今、コロナの影響を受けた事業者の皆さんへの対策、そして全ての事業者、全ての家計が影響を受けている様々な物価の高騰対策、こういった課題が付け加わっている。

つまり県民の皆さんの生活、県内事業者の皆さんの経営にマイナスの影響を与えている要素が増えている、という状況でございますので、県政、市町村の行政、そして県や市町村で難しいことにつきましては政府、国政、こういった全ての行政・政治の力を結集してこの難局を乗り切っていく必要がございます。そういった意味で市町村行政と国政をつなぐ県の役割、大変重要でございます。

これまでに引き続いて県民の皆さん、また事業者の皆さんが4年前より厳しい状況に置かれているという認識のもとで、県政に寄せられている期待というのは4年前より大変大きいと私は思っています。

そういった期待に応えるべく、この4年間県職員のみなさんには、新型コロナの対応といった、これまでに経験したこともない仕事を、全国的に見ても立派に遂行していただきましたけれども、加わった2つの課題を含めて、県民の皆さんの強い期待に応えられるように国政、市町村行政、県内の各産業の分野、経営者の皆さん、また働く立場のみなさん、オール島根で力を結集して、この結集していく要の立場にある県行政としてより一層頑張っていかなければならないと思っています。

本日この場にご臨席いただいております部長さん、次長さん方にはその中軸を担っていただくこととなりますけれども、今申し上げたことを踏まえまして、県民の皆さんの期待にこたえていく県政を、次の4年間も、私、先頭に立ちまして全力で取り組んで行く考えでございますので、本日の幹部の皆さん、そして皆さんのもとで仕事をしておられますの県職員のみなさんの能力・やる気を発揮しながらこの大きな課題に取り組んで行きたいと思っておりますので、皆様方の一層のご奮闘、ご協力、ご支援を心からお願い申し上げます、次の任期に向けての私からのお願いとさせていただきます。

皆様どうかよろしく願いをいたします。